

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第1回授業改善サポーター養成講座開発委員会
開催日時	令和7年7月28日(月) 13:00~15:00
場所	リファレンス駅東貸会議室
出席者	委員対面：小田 政江、合田 美子、田中 秀樹 委員OL：猪俣 昇、半田 純子、吉橋 大樹、足立 隆 計7名 請負業者：飯塚 正成 計1名 オブザーバー：岡村 慎一 計1名 合計9名
議題等	①文化省案件の本年度計画の確認 ・事業名：教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進 ・テーマ：教職員の資質能力向上に必要な教職員研修プログラムの構築・普及・推進する。 ・概要：職業実践専門課程の専門学校教職員を対象とした研修プログラムの開発・実施、LMSを活用した研修提供体制の整備など ・本委員会の授業改善サポーター養成講座の開発について ・背景：専門学校教員の教育に必要な知識や技能への不安 ・目的：学内に指導力向上を牽引する授業コンサルテーションができる中堅教員（授業改善サポーター）を配置し、若手教員の教育の質を向上 ・養成講座内容：授業の観察や評価、カウンセリング、コーチング、授業改善に関するアドバイス、授業計画・教材開発支援など ・期待される効果：自校だけでなく他校の知見も共有し、効果的で質の高い教育を実施 ②講座開発について 令和7年度の到達目標（2点） ・授業改善サポーター養成講座の完成 ・受講終了者に対するフォローアップ講座の実施方法等の検討 委員会開催予定：年間5回程度（福岡2回、オンライン3回）

	<p style="text-align: center;">※7/28 福岡、8/25 福岡</p> <p>取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年度、6年度の受講者およびその上司（組織）を対象としたオンライン調査（計画書では6～7月、実施時期再協議が必要）・講座内容の見直しと研修プログラム開発（7月～9月） <p>改善ポイント：時間配分と進行、事前課題・研修時期の調整、具体例の充実と実践共有の促進、グループワークの工夫と受講者間の交流強化、使用ツールおよび環境の最適化、研修フォローアップを通じた継続的な学びの提供、研修講師の確保・調達</p> <ul style="list-style-type: none">・実証講座の実施（10月～12月） <p>形式：対面1回（東京予定）、オンライン2回の計3回を1セット 上記を通じて授業改善サポーター養成講座を完成</p> <ul style="list-style-type: none">・成果物 <p>授業改善サポーター養成講座テキスト、動画教材教材 令和5年度、6年度、7年度の受講者の成果物と改善報告書 LMSへの教材格納</p> <p>2025年度は、受講修了者に対するフォローアップ講座の実施方法等の検討。成果物や講師については熊本大学と全専研で連携体制を構築する</p> <p>③令和7年度の事業スケジュール 実証講座に関するスケジュール調整 10月2週目迄にオリエンテーション（平日）を実施 授業改善サポーター養成講座の実施時間：オンライン・対面ともに13時～16時</p> <p>④審議決定・懸案事項</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年度6年度修了生及び上司（組織）を対象としたオンラインアンケートを実施する。成果物の公開許可を求める項目も追加する。お盆前（8/8）までに、修了生向けアンケート項目を確定させ、修了生に協力依頼をする。 <p>次回WG（8/25）にて上司向けアンケート（もしくはヒアリング）項目を確定させ、各校に協力依頼をする。</p> <p>両方とも組織経由での依頼が好ましいかどうか。</p> <p>講座改善に向けて考えると、上司向け調査については、全数アンケートよりヒアリングの方がベターかもしれない（小田）。</p> <p>（ヒアリング項目礼）</p> <ol style="list-style-type: none">1) あなたの部下がこの講座を受講して教育の質は向上したかどうか？
--	---

	<p>2) 組織的なサポートをしたかどうか？</p> <p>3) 派遣時に期待したこと、実際受講後は期待通りでしたか？</p> <p>4) この講座を改善するのであれば、どのような点が挙げられるか？</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実証講座の日程目安 <p>オリエンテーション：9/16（火）時間帯は未定であるが、PM1 時間か</p> <p>それまでに→LMS の乗せ換え可能。アーカイブ、成果物共有やコミュニティ機能も可能（猪俣）</p> <p>形式：対面 1 回・オンライン 2 回</p> <p>10/7（火）東京開催 15:00-18:00 + 委員会 + 交流会</p> <p>11/4（火）オンライン開催 14:00-17:00</p> <p>12/2（火）オンライン開催 14:00-17:00</p> <ul style="list-style-type: none">・ フォローアップ講座の新設とコミュニティ形成 <p>継続的な支援体制として、月 1 回のコミュニティイベント開催がよいのではないかと（合田）</p> <p>※例：有識者（鈴木先生 武蔵野大）による講演会は 3 ヶ月に 1 回ペース）</p> <p>Facebook グループを使った交流も提案したい（合田）</p> <p>1 期～3 期の修了生対象：1/9（金）（90 分程度）→場所・時間帯未定</p> <p>全専研サイドで計画・運営（財源も）を検討したい（小田）</p> <p>8 月の修了生アンケートにて、コミュニティリーダーを募ってはどうか？（小田）</p> <p>→8/25WG で協議</p> <p>※コミュニティイベントの構成案</p> <ul style="list-style-type: none">： 前半 40 分 サポーターの意義・役割（基調講演）： 後半 40 分 質問・相談会 <p>+交流（飲み会含む）</p> <p>※コミュニティイベント課題点（飯塚）</p> <ul style="list-style-type: none">： 自主的参加が前提のため、リーダー不在では継続が困難： 地方開催では集まりにくい可能性があるため、形式の柔軟性を要検討 <ul style="list-style-type: none">・ 開発した講座の全専研および全国の専門学校での継続運営、各種団体等との連携 <ul style="list-style-type: none">： 熊本大学との教育連携協定：協定書を作成し、熊本大学に提出（回数、講義内容）し、山下さんにも協議に入ってください（合田） <ul style="list-style-type: none">・ 次期開催日程について <p>第 2 回 WG（対面・オンライン）：8/25（金）13:00～15:00（博多）</p>
--	--

(様式)

	内容： LMS の完成確認 (コミュニティ・成果物ライブラリー・アーカイブデータ) ： 養成講座の改善点協議 ： 成果物の整理と評価、修了生アンケート集計進捗について ： facebook 利用や有識者講演についてアンケートニーズを確 認
配布資料	

以上